

# 図書館だより

No.32 (H30. No.9)

2018年12月1日

## ◇11月の学年別貸出冊数

学年	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
貸出冊数	330冊	482冊	261冊	96冊	70冊	29冊

総貸出冊数 1,432冊

## ◇開館スケジュール

原則、毎日開館です。日曜・祝日のみ閉館（2, 9, 16, 23, 24, 27, 29～1/3, 5, 6）

※冬期休業期間中の開館日は、26(水), 28(金), 1/4(金), 7(月)です。

お間違えの無いようご注意ください！

## ◇お知らせ《冬期休業中の特別貸し出しについて》

12/11（火）～12/25（火）は、一人10冊まで借りられます。  
返却期限はすべて 2019年1/9（水）です。  
この機会に気になっていた本を借りてみてください！

なお、高3生に対する貸し出しは原則 12/25（火）をもって終了します。  
（最終返却は1/9（水）となります。）

受験対策等で貸出が必要な場合は対応しますので、司書までご相談ください。



### 《スタンプラリーについて》

12/7（金）～12/21（金）の期間、図書館でスタンプラリーを開催します！  
詳しくは館内に掲示するお知らせをご覧ください。  
スタンプラリーのカードの回収は1/11（金）締切です。

### 《購入リクエストについて》

今年度中に購入を希望する本がありましたら、12/20（木）までにリクエスト  
して下さい。それ以降は来年度分となり、5月以降の購入になります。



## ◇新着案内

新着図書が **167冊** 入りました。教室掲示の新着案内と、図書館内の新着本コーナーをご確認下さい。

### 新着図書ピックアップ

#### ◎『コンピュータ、どうやってつくったんですか？』 川添愛 著 (007カ)

コンピュータ3つの基本①数字で表された情報・②電子機器である・③様々な計算ができる、を「コンピュータに触ったことはあるけれど、中身のことは全然知らない」という人に対して楽しく読みすすめるように解説した一冊です。コンピュータやプログラムが動くしくみの本質は、現代においてもなんら変わりはないそうですよ。

#### ◎『安藤百福とその妻仁子 インスタントラーメンを生んだ夫婦の物語』 青山誠 著 (B28ア)

チキンラーメンやカップヌードルなどの画期的な発明で、世界中の人々を満腹にし、笑顔にした日清食品創業者・安藤百福と妻、仁子。現在放送中の朝の連続ドラマのモデルになった夫婦の夢の物語です。

#### ◎『日本の美術館めぐり』 浦島茂世 著 (706ウ)

日本に1000以上ある美術館、それぞれが独自のコンセプトあるコレクション（収蔵作品）を常設展示しています。その中のステキな102の美術館が紹介されています。是非出かけてみてください。

## ☆図書館を活用しましょう 第7回 (図書館を活用しようⅢ)

### ◆**応用編** <<思考力を高めるレファレンス本の活用>>

本校の図書館の特徴は、中学と高校が併設されていることにより、蔵書数も4万冊余りと多いこと、それと対象が中学生向けから一般向けまで幅広い本が揃っていることです。その中で際立っているのはレファレンス本の充実だといえます。ここでいう「レファレンス本(参考図書)」とは図鑑等の**ビジュアル本**と**ジ典類**(事柄を説明する「事典」、言葉を説明する「辞典」)を指すこととします。ふつう高校の図書館ではビジュアル本は少ないですし、中学ではジ典類は基本的なものにとどまっているのですが、本校では両方共がかなり充実しています。

今回も奥野宣之『図書館超活用術』(朝日新聞出版)を参考にしました。(「 」内は引用)

#### **ビジュアル本**

ビジュアル本とは、図版やイラスト、写真などを多用した本のこと。図鑑、写真集やタイトルに「図解」「イラストで分かる」「写真で見る」といった言葉が入っているものをいいます。

分類本棚にありますが大規模のものが多く、最下段にある率が高いです。ピックアップして本棚の上に展示しているものもあります。

こうしたビジュアル本の利点は、いまひとつわかり辛い事柄の「**大まかなイメージをつかむ**ことができるようになる」ことです。ビジュアルや写真を見ていけば「興味はなかったが、ここだけはおもしろい」ということが出てきたり、**好奇心や新しい発想**につながっていったりすることもあります。

「脳科学によると、文字や言葉を扱っているときと、写真やイラストを扱っているときとでは、やはり脳の働きが違ってくるそうです。出てくるアイデアも一味違ってくるのです。」

探究活動において、行き詰った時など「**視点を変える**」「**アプローチを切り替える**」上で試してみることをお勧めします。

たとえば、雑誌本棚の上に『地球 MAPS -世界6大大陸発見の旅-』という、先月新着の図鑑があります。立体感のある3Dマップが豊富にあり、例えば大陸別に「人口分布」があって、感覚的に人が集中しているところや人がいないところが分かり、つい地形や気候などの他のページも見てみたくなります。

#### **レファレンスコーナー〈本校では「ジ典コーナー」〉の活用**

レファレンスコーナーとは、図書館の中で**百科事典**をはじめ、日本語や外国語の辞書、歴史や地理の**大事典**、**自然科学の大事典**などの参考図書(レファレンス本)を集めてあるコーナーのことです。本校の図書館では、入口を入って左側にある**ジ典コーナー**と中央柱付近にある**百科事典棚**が相当します。レファレンスコーナーの本もNDCの番号順に0類から9類まで並んでいますので、「**図書館の中のミニ図書館**」といえるでしょう。分類が近いものは関係も深いので、「周辺の情報にも自然と目が届き」、ついでに手に取ってみると参考になることがあります。

「考えをまとめる段階で、レファレンスコーナーで本を見ておくメリットは、自分の視点に「**抜け**」がないことを確認できること。レファレンスコーナーにある基本的な参考文献は「**〇〇大事典**」といった網羅的内容のものが多く、こうしたレファレンス本でチェックしておけば自分が忘れていた**論点**や**視点**に気づくこと。**あいまいな知識の確認に使える**こと。また、どんな論点があるか、これまでどんな議論があったのかも確認できること。」などです。**確認のための利用に最適**です。ですから、レファレンス本は、インターネット検索のようにキーワードで「**引く**」のではなく、「**ざっとめくって確認する**」**活用方法**がよいでしょう。

レファレンスコーナーは、じっくり調査したり、文献を読み込んだりしながら、一つの課題意識やアイデアを育て上げ、「**自分の考え**」をまとめていく場面で有効です。

#### **本校にある主なレファレンス本《百科事典棚にあるもの》**

百科事典：世界大百科事典、日本大百科全書、ポプラディア(50音順)、万有百科大事典(分野別)

年鑑：「子ども年鑑」「朝日ジュニア学習年鑑」「ニュース年鑑」「世界の統計」「日本の統計」など

新語辞典：「現代用語の基礎知識」「日経キーワード」「朝日キーワード」

便覧(ハンドブック)：「理科年表」「環境年表」

その他の大事典、辞書(字引)はレファレンスコーナーに分野別にあります。

**どのようなものがあるのか、一度さらっと確認してみましょう!**

2016年度「図書館だより」より改稿の上、再掲